

第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	役員会	開催回	第2回
開催日	平成23年7月27日(水) 四谷特別出張所 会議室		
出席者	区民	役員7名	職員 4名
主な協議 のテーマ	1, 各分科会報告・連絡について		
	2, 連絡会等の報告		
	3, 避難所運営に関する意見交換		
会議内容 主な意見	1 各分科会報告・連絡について		
第1分科会	<p>○「四谷を識る勉強会」(四谷学)を9月10日開催予定 テーマ等を現在検討中 テーマ案 四谷の生活、文化、交通衣食住 ※時代焦点を江戸時代後半「文化、文政期」に絞る。 第1部：講師 鈴木副館長 第2部：地域の方の昔の話をビデオ撮影して映像で紹介する(現在依頼者を検討中)</p> <p>○勉強会開催にあたり、江戸東京博物館を見学し勉強し学芸員よりレクチャーいただく。(別紙案内らし参照)→8月23日の第1分科会で内容の詳細を決定する。 見学勉強会参加人数11名、支援員1名</p> <p>・参加者(第1分科会委員のみ)の支出を勉強会開催費用より支出する。 【参考】交通費(四谷⇄両国 320円) 観覧料600円ただし65歳以上300円</p>		
四谷お宝さがし	<p>○募集を8月1日より開始する(別紙チラシ参照) 本年度は「四谷お宝さがし」活動を開始して5周年となり節目を迎えるので特別企画を検討している。</p> <p>○第5回発表会日程は平成24年3月17日(土)13:00より 四谷地域センター(12階 多目的ホール)</p>		
第2分科会	<p>○健康体操は順調に開催されている。各会場担当の実行委員が毎回責任を持って運営してくださっている。参加人数も安定している。 夏場は特に熱中症等の暑さ対策に気を付けながら参加していただくよう講師から呼びかけてもらうこととした。</p> <p>○今年度も乳幼児連絡会と協働して9月11日「子育て応援イベント」を開催予定。 参加協力内容は民生委員と協力してトン汁200食を作成(昨年度は100食だった) ※昨年同時開催したあいさつ運動の子ども企画イベントは11月3日の文化・スポーツフェスタで開催することとなった。(高齢者体力測定も同時開催)</p> <p>○8月の会議では育成会が作成した安心安全マップ(ウェブ版)の視聴をする。</p> <p>○新活動(多世代交流活性化事業)を提案する委員の意見を協議中。</p>		

<p>第3分科会</p>	<p>○7月8日に「今すぐできる節電対策と新宿区の新エネルギー（太陽光パネル）等の導入補助金制度について」勉強会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネル機器の性能は（機器の進化、助成制度の変革などを期待していたが）3年前とほとんど変わっていない状況が確認できた。 （補足意見）海外では太陽光エネルギー政策が破たんしつつあるところも出てきた旨の情報もインターネットで得た。今回の説明を伺っても費用対効果を考えると日本では（特に都心部）導入が進まないと感じる。</li> <li>・電力節電に関しては東京電力を招き効果的な節電方法等有意義な勉強ができた。照明電球の減らし方も機種を確認しないと電球（蛍光灯）を抜き減らしても残った電球がワット数を維持するため、節電効果は出ない。また、夜間の電力供給は安定しているので熱帯夜、寝苦しいときなど無理をしないでエアコンを使用しても大丈夫である。</li> </ul> <p><b>家庭での節電三つの方法キーワード</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 減らす・・・電気使用量（エアコン等）を減らす。</li> <li>② ずらす・・・ピーク時をずらして電力を使用する。</li> <li>③ 切り替える・・・省エネ設定機器に切り替える。</li> </ol> <p>○内藤とうがらし PT 「内藤とうがらし通信」（配布済み資料参照）を苗の購入者に郵送した。 （四谷中学コミュニティスクール活動でのワークショップ案内も同封）</p> <p>○9月14日の第三分科会では四谷三丁目駅付近の駐輪場の現状を区の担当者を招き意見交換する予定。・・・地域では駐輪機器の設置によるゴミの堆積、裏道の違法駐輪などを危惧している。現状の様子を照らし合わせながら問題点の解決を探りたいと考える。</p>
<p>観光まちづくり実行委員会</p>	<p>○7月28日信濃町界限まち歩き（文学座、民族音楽博物館周辺）を予定。 次回は8月20日玉川上水と内藤新宿をテーマに開催する。 未来創造財団観光課が推進するガイド活動連絡会にオブザーバーで出席していたが四谷ではガイドできる活動体になっていない現状なので休会させていただく。</p>
<p>広報</p>	<p>○「声」5号の編集方針 紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 町会紹介：四谷2丁目、荒木町</li> <li>② 第4期地区協議会の抱負：各分科会リーダー寄稿</li> <li>③ 役員会集合写真掲載（次回の役員会で撮影）</li> <li>④ 防災特集：課題別 PT（工学院大学）防災意識の啓蒙関連記事</li> <li>⑤ 教えて地区協：高齢者総合相談センターの仕事について</li> <li>⑥ お宝さがしコーナー：8月2日のお宝実行委員会会議で内容を検討</li> <li>⑦ 新宿シニア活動館の体操教室：取材（事務局）</li> <li>⑧ 観光まち歩き（広報委員取材）</li> </ol> <p>（意見）町会紹介コーナーはもっとインパクトある PR ができるよう編集を工夫していただきたい。→そのように検討していく。</p>

<p>課題別 P T 防災・地域安全</p>	<p>○各分科会からも広報作成の手助けを願いたい。テーマにより各分科会で意識を持って関与していただけるとありがたい。こちらからもお声掛けするのでよろしく願います。</p> <hr/> <p>○危機管理について四谷中学地域協働学校（地域連携部）として地区協議会に相談しながら中学生に「訓練に参加しよう」と促す活動を始めた。 中学生への呼びかけも工学院大学コンサルタント会社（グローバルリンク）に相談したが、「子どもたちを動かす前に先生を動かすことが大切」との意見をいただいた。（理想であるが）今までの学校側との折衝を通して感じた教職員との考え方の相違が示すとおり、現実には理想通りにはいかない。未だに協力していただけない現実がある。しかし今後もあきらめずに中学生に避難所開設訓練への参加を呼びかけていきたい。</p> <p>（避難所運営管理協議会関連意見）</p> <p>○新宿区危機管理課からの要請で花園小学校エリアの避難所運営管理協議会で「避難所開設キット」ツールの実証実験説明をさせてもらえないかという話があった。 検証日が未定なので早く連絡いただきたい。 →後日8月11日に決定。課題別PTも参加することとした。</p> <p>○（次回の会議で）広報「声」の防災特集（見開き2ページ）テーマを固め、工学院大学と相談して掲載内容を決定する。</p> <p><b>【出張所より情報提供：四谷地区防災訓練日程】</b></p> <p>① 新宿高校 8月1日（月） ② 四谷中学校 9月11日（日） ③ 四谷小学校 10月30日（日） ④ 四谷第6小学校 11月6日（日） ⑤ 四谷ひろば 11月13日（日） ⑥ 花園小学校 未定（10月～11月）</p> <p><b>2 各会報告・・・(代表委員より)</b></p> <p>●地区協議会連絡会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月11日開催された。各地区の事業決算が報告された。 10地区が順番に発表していったが、どの地区も持ち時間以上に熱心に活動を報告された。→感想：詳しい報告をしたい気持ちはわかるが持ち時間の制限は（四谷は守った）厳守していただきたかった。</li> <li>・規約改正について提案があったが、新宿区町会連合会のような組織づくりは協議会組織には必要ないと（四谷代表として）感じている。 「連絡会の機能は情報交換の場であり、その交換会の中で（新宿区全体の協議会の）上下関係ができてしまうような組織とする必要性を感じない。」と発言した。</li> <li>・昨年同様連絡会の幹事役は輪番になった。 →四谷・笹筥地区：平成24年2月</li> </ul>
----------------------------	---

(意見)

- ・ 先ず協議会組織が何をすべきか話し合うことが大切だと思う。報告も大切だが様々な団体のパイプ役を担うことも目的であると理解して運営していくべきだと思う。四谷ではそのような運営をしており、今後も継続していく。

●自治基本条例について

- ・ 関連シンポジウム(新宿区主催)は3月に開催予定となっている。
- ・ 条例制定に関与した区民の会の30名弱が継続して地域自治組織等の勉強会を自主的に開催している。

### 3 その他

#### 出張所より

- 新宿区広報ビデオ「こんにちは新宿区長です」について  
(詳細は広報しんじゅく 7月25日号参照)

8月1日～31日ケーブルテレビ放映

- 新宿区作成：タブロイド判広報誌とパネル(ふれあいまつり展示)について  
タブロイド判広報誌→8月5日制作業者と事務局の打ち合わせがある。

掲載希望活動・・・(お宝さがし5周年、他今後検討することとした)

可能であれば次回の役員集合写真を業者に撮影していただく。

パネル→ボイス4号の協議会活動一覧の文字数を少なくした原稿を入稿することとした。

- 新宿区長トークの日程等を調整しています。

四谷地区予定：10月19日(水) 19:00～ 会場：四谷地域センター  
詳細等決定しましたら、お知らせします。

---

- その他

①第1分科会リーダー意見(分科会では未協議)

地区協議会が認知されてきた中、現在のメンバー(委員)が地域の中心となって活動していく意識の有無、具体的な思い等を伺いたいと考えている。

協議会組織の継続に重要な部分だと考える。

今、口頭でお伝えしたが9月の役員会で具体的に何をどう伺うのか、案を提示できるようまとめてお示しさせていただきたい。

②所属分科会の変更依頼について

※現第1分科会委員が個人的な都合により第3分科会へ変更したい旨の届けを事務局で受理した。→本日の役員会で変更を承認。

(主な意見)

- ・ 所属会の決定は自由意思でよいと思う。変更を却下する理由はない。
- ・ 協議会のルール(会則)を遵守して活動していただきたい。

### 【災害時の避難所運営について意見交換】

- 東日本大震災級の災害が東京で起こった時、はたして新宿区の避難所はスムーズに機能するのか？ 3月11日の帰宅困難者問題を見ても、相当の人数が避難所に押し寄せることが想定できる。
- そのような時、実際に誰がリーダーシップをとれるのか・・・避難場所の役割を再検討して、訓練していくことが防災問題の重要なテーマと考える。
- 地区協議会としても四谷地区の現実問題を話し合っていくべきかと思う。避難所に来る方の半数以上が外部（帰宅困難者）で、帰宅困難者には新宿御苑に行っていたきたいのに無下に断れなかった。
- 四谷全域の問題としてこのテーマ(帰宅困難者の誘導、自助等)にどのように対処すればいいか考えさせられる。
- 実際問題として心配しているが、どうしたらよいか・・・助け合いを起点にしながら周囲の会社、事務所に情報を浸透させていかないと、有事の混乱は避けられない。
- 各学校での避難所運営は重いテーマである。今現在の現実をはっきりと認識して対処法を検討すべきだと思う。
- 実際に有事の時、教員(学校側)が対応するのが現実として見えている。だからこそ教員も脅威に思っている。現在の地域主体の避難所の運営ではなく要員として学校を交え、学校職員と地域の人で議論を待たないといけなく強く感じる。
- 3月11日には「四谷ひろば」では、ひろばを運営する委員、事務局が避難所管理の役を担った。同じように学校では学校の教職員があたることになる。
- 備蓄倉庫にしても、学校職員の管理権限義務を明確にしておいたほうがよい。
- そのような大切な（役割分担等）決め事が今止まっている理由は学校側の関与が薄いからだと思う。学校の先生を入れて（訓練）したいが、出勤問題等でなかなか進まない・・・
- そこを推進するのは(新宿区の)危機管理課の役目、役割ではないか？町会住民が声を出しても学校側は聞き入れてくれない。
- 現状を見ると危機管理課は（現実問題を地域だけに）投げていると感じる。避難所運営訓練にしても四谷は、全部の学校で毎年やっているが新宿区内では実施していない所もあると伺った。それでいいのであろうか・・・
- 滞留者（帰宅困難者）が本来行くべき新宿御苑に行っても職員がこちら（地域住民の避難所）に流してきた・・・本来は逆のはずが、実際にはこういう状況も起きる。
- 出張所：ご意見の通り確かに（避難所の）自主運営の流れは行政が作っていかないといけないと認識する。
- 他の地域の滞留者問題と解決策が聞こえてこない。とりあえず花園小学校に入っていたが、それでよかったのか・・・これからもそうなるのか・・・
- つまり、基本的なことが決まっていないという現実が今回の（3月11日）地震で認識できた。この課題を早期に検討し「間に合わなかった」としないようにしたい。

次回日程

..... 9月 5 日 (月) 14:00 ~ 四谷特出会議室 .....